

アシベトウン チャシ
(9) ASPET UN CASI

アシベツの家

K 匿名((鵜川筋))

サタモ

Satamo

平賀サダ(サダモ)((福満))

アシベトウン チャシ

Aspet un casi

1 芦別の家は

カンラシ カシ ケトウンケ

kanras kasi ketunke

2 屋根の桁(まさ)がはが
れて

ハウワッ プンカラ サラッパ。

hawwap punkar sararpa.

3 ブドウヅルでしめたところが見えてきた。

アシベトウン チャシ

Aspet un casi

1 芦別の家は

カンラシ カシ ケトウンケ

kanras kasi ketunke

2 屋根の桁(まさ)がはが
れて

ハウワッ プンカラ サラッパ。

hawwap punkar sararpa.

3 ブドウヅルでしめたところが見えてきた。

アシベトウン チャシ

Aspet un casi

1 芦別の家は

カンラシ カシ ケトウンケ

kanras kasi ketunke

2 屋根の桁(まさ)がはが
れて

ハウワッ プンカラ サラッパ。

hawwap punkar sararpa.

3 ブドウヅルでしめたところが見えてきた。

1) 歌い手のサダモさんによれば、本当は **Waspert** ワシベツ(鷺別)だが、わからないように **Aspet** アシベツと言う、とのことである。casi チャシは、柵のことを指すほか、有名な人の家、“王様”の家などを指し、ユーカラの中では単に「家」を casi チャシという、とサダモさんは説明している。

2) ras ラシは木の割片だが、この kanras カンラシ《上の木片》とは、サダモさんによれば《屋根の桁(まさ)》。板葺屋根の桁板のことらしい。ketunke ケトウンケは、「はがれた」ことで、話し言葉ではこの語は使わず、soske ソシケという、とのことである。

3) サダモさんによれば、hatwap ハッワッと言いたい、言えは悪いから(=言うとうよくないから)隠しことばで hawwap ハウワッという、hawwap punkar ハウワッpunkar とは、hat punkar ハップンカラ《ブドウヅル》のことだ、と言う。

アシベトウン チャシ Aspet un casi	1	芦別の家は
カンラシ カシ ケトゥンケ kanras kasi ketunke	2	屋根の柱（まさ）がはが れて
ハウワッ プンカラ サラッパ。 hawwap punkar sararpa.	3	ブドウヅルでしめたところ が見えてきた。
サタモ パクノ Satamo: pakno	4	サダモ：もういい。

【類歌】同じウボボが門別町郷土史研究会『沙流アイヌの歌謡』（テープ、門別町教育委員会所蔵）、NHK『アイヌ伝統音楽』に収録されている。なお、『知里真志保著作集2』に、アシベツの家の歌の筆録1編(p.273)がある。歌詞も少々違い、解釈も異なる。

(9) アシペトウンチャシ アシペツの家

歌 平賀サダ(サダモ)ほか1名
採譜 田村すず子

♩ = 126

As- pet un ca- si kan- ras ka- si ke- tun-
ke haw- wap pun- kar sa- rar- pa As- pet
ke- tun- ke haw- wap pun- kar sa- rar- pa.
un ca- si kan- ras ka- si ke- tun- ke
As- pet un ca- si kan- ras ka- si ke- tun-
haw- wap pun- kar sa- rar- pa. As- pet un ca-
ke haw- wap pun- kar sa- rar- pa. As- pet
si kan- ras ka- si ke- tun- ke haw- wap
un ca- si kan- ras ka- si ke- tun- ke

pun-kar sa-rar- pa. As- pet un ca-
 haw-wap pun-kar sa-rar- pa. As- pet

si kan-ras ka-si ke-tun- ke haw-wap
 un ca- si kan-ras ka-si ke-tun- ke

pun-kar sa-rar- pa. As- pet
 haw-wap pun-kar sa-rar- pa. b̄